

かじか



令和2年1月8日号 岩国市立美川小学校

あけましておめでとうございます

校長 村重 忠

3学期になりました。巷ではインフルエンザの流行で市内の学校でも学級閉鎖等が相次いでおりましたが、本校ではインフルエンザによる欠席は1人もおらず、児童職員とも全員元気に新年を迎えることができました。これも御家庭でのお気遣いの賜物と感謝申し上げます。

さて、本校の4年生は、昨夏より東谷の三浦様の畑をお借りし、御指導いただきながら蕎麦を育ててまいりました。その収穫が終わった先月の中旬に、市内に在住の講師の先生をお招きして蕎麦打ち体験をしましたが、その際に感じたこととお話しします。

講師の先生には毎年この時期に全児童を対象に蕎麦の打ち方を御指導いただき、みんなで食すという活動をさせていただいています。御指導をいただく中、そのプロさながらの手さばきに、初対面の私はどこかでお店を開いておられる方なのかなと思っておりました。

ところが、聞けば趣味でやっておられるとのこと。児童には蕎麦打ちのスキルを習得させていただいただけでなく、仕事をされながら好きな趣味を楽しまれ、技量を極められ、社会に奉仕できる、こんな「素敵な生き方」もあるのだという、これから生きていく上での良い見本を提示していただきました。

子どもだけでなく、一緒に参加した職員にとっても、これぞ「ライフワークバランス」と言える生き方を目の当たりにできる良い機会となったのではないかと思います。

今年はいよいよ東京オリンピックが開かれます。アマチュアの祭典とも言えるこの大会は、仕事をしながら（学生においては勉学に励みながら）興味を持って始めたスポーツを極めた人々の集まりです。メダルが何個と一喜一憂するのもありますが、子どもたちには、こういった人々の姿を良い刺激として、将来自分はどのような「素敵な生き方」ができるかの参考にしてもらいたいと思います。

学校の周りにも「素敵な生き方」をされ、学校に関与されている方々がたくさんいらっしゃいます。南桑明朗会の方々、美川観音太鼓保存会の方々、読み聞かせの方々等、他にもたくさんいらっしゃいますが、学校支援をいただいているこういった方々は、それぞれが本業を持ちながらも、好きなこと、得意なことを生かして地域（学校）に貢献するという「素敵な生き方」をされておられるのだということ子どもたちに感じて欲しいと思いますし、ことある毎に伝えていきたいと思っています。

地域の皆様のお陰で、今年も新年が迎えられました

しめ縄作りに挑戦



今年で4回目となったとなった河山学習。サロン竹の子の会の皆様に御指導頂きながら今年もしめ縄を作りました。必要な物を全てご準備いただき、児童にほぼマンツーマンで指導していただきました。年に1回の行事なので、忘れていた点も多々ありますが、年々作業が速くなっているのは、少しずつでも技術が身につけてきているからではないかと感じました。日本の伝統文化を継承できる機会として、今後も大切にしていきたいと思ひます。

6年生の作品



門松作りに挑戦

毎年明朗会の方々に迎春準備として、門松を作っていただいています。今年も、明朗会の方々に材料の準備やサポートをして頂きながら、児童自身が作る体験をしました。竹や松や梅などをバランス良く組み合わせたり、南天の位置を考えたりと知恵と力を出し合い作業を進めました。

明朗会の皆様の全面サポートで大満足の仕上がりとなりました。



アドバイスやサポートをしてくださる明朗会の方々



1班が作った門松 2班が作った門松 どちらもりっぱにできて大満足です。

